

# 人権・同和教育部たより

## 1. はじめに（ご挨拶）

本年度の本校人権同和教育部主事の宮内洋介（みやうちようすけ）です。担当教科は数学で、浜田水産高校に勤めて4年目になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度も「人権・同和教育部たより」を発行することにしました。本校での「人権・同和教育」の様子や、私たちが常日頃感じていることを皆さんに伝えていきたいと思えます。毎月1回の発行を目標にしますのでちょっと目を通してもらえると嬉しいです！



## 2. 生物社会に学ぶ

### 「競争・共生・我慢」の3つの言葉から

学校長 池田速人

新緑の季節、私たちの周りには様々な木々や草花を見ることができます。森の中にも、背の高い木、低い木、下草、さらに土の中にはカビや細菌などいろいろな生き物が、お互いにいがみ合いながらも我慢し、精一杯生きています。

この競い合う「競争」、耐える「我慢」、その中でも共に生きる「共生」が生物社会の掟と言えます。森の中では、好きな植物同士が好きなところで勝手に生きているわけではありません。寒さや暑さなど厳しい自然条件の下で、ちょっと我慢しながら嫌なやつでも共生、共に生きています。個々でいう共生とは、決して仲良しクラブではありません。競い合いながらも、互いにすみ分けて共に生き続けることなのです。これが健全な生物社会の姿であり、植物が生き延びるための条件なのです。

私たちの人間社会でも、同じことが言えます。「競争」についていえば、同じ種同士、近い種同士が競う合うことによって早く伸びようとするのです。人間社会では、いつも全員がライバルでは困りますが、よい意味でのライバル関係は必要です。「我慢」は、今は成長する前の熟成期間・休養期間と考えられます。「共生」はいろいろな人が、それぞれの役

割や責任を分け合って共に生きていく状態をいいます。しかし、共生だけに流れすぎるのはよくありません。それぞれが各自の役割を自覚して、分担しながら目標に向かって進むことは、組織として欠かすことはできません。

私たちの日常での多くの活動は、それぞれ分担に従い、組織的に計画・実践し、よりよいものにするためにお互いに切磋琢磨し、円滑に進めるために自分の考えと違っている時も多少の我慢をして、成果を上げている場合が多いのです。「競争・我慢・共生」の三つの言葉は、人間社会が健全に発展するためのキーワードと言えます。

生物は、競争をとおしてのみ発展していきます。人間社会もこれを見習ってすべての競争を拒否しないで欲しいものです。また、好きなものだけを集めるのは危険であり、いろいろな種類が集まる多様性こそが自然界では健全な姿なのです。人間社会でも、同じような考えを持っている人ばかりや同じ性格の人ばかり集めている組織はもろくなってしまいます。いろいろな人がいる方が、いざというとき思わぬ力を発揮するものです。異なった考え方や見方ができる人の存在は貴重です。そして、そこには生物社会の「共生」という考えに基づき、他人を認める・尊重するという姿勢が常に必要なのです。

学校生活の中では、特にクラスや部活動などで、まとまりがよくないと悩む人がいます。しかしながら、この多様性こそがそれぞれのグループ発展の原動力となるのです。まずは、お互いの存在を認め合うことから始めてはいかがでしょうか。



### 3. 人権・同和教育部の活動紹介

人権・同和教育部では、みなさんへ人権に関する啓発活動を計画、実施しています。

自分にとって人権が守られているときは、ごく普通と感じ、あまり考えないものです。人権について気づかずにいることを少しでも、気づくような機会をつくりたいと思っています。どのような活動をするのか紹介します。

#### ○生徒への啓発活動

##### ①. ホームルーム活動

各学期に1度、LHRの時間に人権・同和教育のテーマで授業を展開します。

	1 年	2 年	3 年
1 学期	6 月 23 日 (月)	6 月 16 日 (月)	7 月 14 日 (月)
2 学期	11 月 6 日 (月)		12 月 1 日 (月)
3 学期	2 月 2 日 (月)	2 月 2 日 (月)	

1 学期のテーマ

1 年生：仲間づくり

2 年生：人間関係づくり

3 年生：就職差別

##### ②. 人権についての読みもの

毎月1回、朝礼、終礼などの時間に、人権に関する読みものを用意します。短い時間ですが、その間は、読みものを読んで、自分の生活や行動を振り返ったり、自分の周りにいる人のことなどを考えたりしてほしいと思います。

##### ③. 講演

7月にインターネットのトラブルに関する講演を予定しています。

#### ○教職員への啓発活動

教職員への研修を行います。

#### ○保護者への啓発活動

人権・同和教育部より発行します。また、ホームページからも見られるようにします。

### 4. あいさつについて

朝の登校時に、昇降口に何人かの先生方が立って朝の立番指導(あいさつ、服装・頭髪)を行っています。私は月に1, 2回しか立っていませんが、挨拶をする生徒が多くなったなあと感じています。

毎日何気なく挨拶をしていると思いますが、挨拶はすごく大事なものだと思います。気持ちの良い挨拶をかわすだけで、お互いに良い気持ちで生活が送れます。また、挨拶は話し始めの「きっかけ」を作ってくれるものであり、積極的に行えば行うほど他人とのつながりが増えてきます。

さて、みなさん無意識に挨拶をしていませんか？無意識でも、しないよりは遥かに良いです。良かれ悪かれ挨拶をすることで相手に対しての「礼儀」を果たすことができると思うからです。

挨拶を無意識に行ってもよいのですが、毎日意識して行うことでどんな相手に対しても印象や雰囲気良くすることができます。

例えば挨拶する際につきのような意識をしてみよう。

- ・ **目線** (相手としっかり目を合わせていますか?)
- ・ **顔の表情** (無表情になっていませんか? 笑顔で!)
- ・ **声** (小さくないですか? 相手に程よく聞こえる声で!)
- ・ **姿勢** (顔だけ相手に向けていませんか?)

このようなオプション?をプラスした挨拶をされたらあなたは気持ちの良い印象を受けませんか? 私なら嬉しくなります。

意識して良い挨拶をしていこう。



(文責 宮内洋介)

